

福祉わくや

2023.3
第155号

涌谷町社協にオリジナルキャラクターが誕生しました!



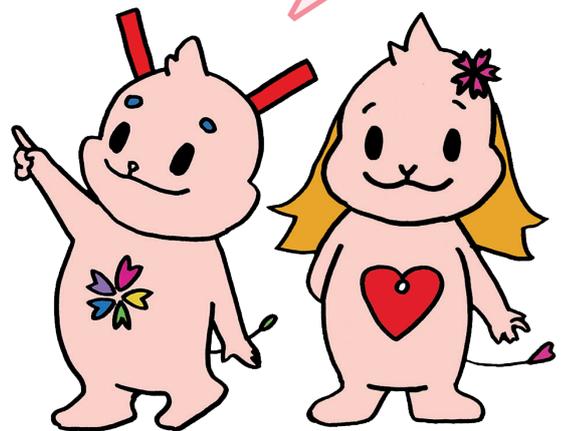
通じあおう 

全国的に活躍されている美術部の皆さんに、とても可愛らしくデザインしていただきました。これからいろいろな場面でわたしたちを見かけると思います。よろしくお願いします!

涌谷高校美術部の皆さん わくやの「W」ポーズでハイチーズ!

社協からの「オリジナルキャラクターのデザインをお願いできないか」という相談を二つ返事で受けていただき、約1年間かけて生徒の皆さんと職員と一緒に取り組んできました。

「もう少し涌谷らしさを表現できないか」「表情をやわらかくしてほしい」など、細かな要望にも応えていただきました。皆さんのご協力のおかげで、素敵なキャラクターが完成しました。



わたしたちの名前は…?
裏表紙を見てみてね!

- わくや地域まるごと会議 分科会 地域福祉活動計画評価・推進委員会 2ページ
- 福祉学習出前講座 第5回さくらカフェを開催しました! 3ページ
- 運動ひろばはじめませんか? 4ページ
- かるが〜るプラザ参加者募集 5ページ
- ゆうらいふ通信 6ページ
- まるごと受け止める社協の相談窓口 7ページ

- お知らせ 8~9ページ
赤い羽根共同募金実績報告
配食サービス協力員募集
まもりーぶ
- 社協オリジナルキャラクターのご紹介 10ページ
編集後記 等

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等

学びあおう

支えあおう

通じあおう 

涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」

わくや地域まるごと会議 分科会

「見守り活動」「集いの場」「生活支援」の3つの分科会で、今年度の涌谷町生活支援体制整備事業のテーマでもある「若い世代とのつながりづくり」について、各分科会の視点から協議を行いました。
 壁新聞にまとめた先進事例を確認しながら、涌谷町でできそうなことややってみたいことを話し合いました。いつもとは少し違う動きながらの協議で話が盛り上がり、次のような意見が出ました。

構成員の声

「まずは若い世代の声を聞くことが必要。顔を合わせ、意見交換ができる場をつくるだけでも大きな一歩」
 「少しずつ、時間をかけて仲間を増やしていくことが大切」
 「若い人たちの協力＝企業の協力を得られるよう働きかけていく必要がある」
 「今の活動を継続することで、様々なコミュニティにつながっていくはず。もっと多くの人や機関と連携できるように」
 「ボランティアのハードルを下げ、価値を高める視点が重要」



生活支援体制整備事業 × 若い世代とのつながりづくり = 世代を超えた出合いの場



地域福祉活動計画の評価から withコロナへ向けた地域福祉活動推進へ

第3次涌谷町地域福祉活動計画評価・推進委員会(以下、委員会という)を開催し、令和4年度の取り組みを評価していただきました。第3次涌谷町地域福祉活動計画(以下、活動計画という)は7つの実施計画の中に13の「地域で取り組むこと」と20の「社協が取り組むこと」を定めています。今回は「地域で取り組むこと」と「社協が取り組むこと」それぞれについて、評価シートに基づき4段階(よくできている・できている・一層の取り組みを期待したい～できていない)で評価を行いました。

委員からは「これからの涌谷町を考えたとき、子育て世帯への支援も充実させることが大切」などの意見があり、今後の取り組みについて考える機会になりました。

活動計画にある福祉活動の推進は、住民・団体・事業所・企業等がそれぞれの特性を活かしながら活動していくことが肝要です。ご興味のある方はホームページに活動計画を掲載していますのでご覧ください。

地域福祉活動計画とは、

地域住民一人ひとりが住みなれた地域において安心して生活ができるよう、住民が主体的に地域福祉活動を推進するための活動計画です。

活動方針1 学びあおう	
実施計画1 地域や福祉のことを学ぶ機会の充実	
①「地域で取り組むこと」 「生活支援体制整備事業」の推進委員会等・積極的に参加する。(住民)	3・2・1・0
②「社協が取り組むこと」 ①の推進委員会等が、地域や福祉のことを学ぶ機会を設ける。地域協力があふれる地域で学ぶことができる場(ワークショップや講座や勉強会、研修など)を設ける。(住民・職員)	3・2・1・0
③「地域で取り組むこと」 ①の推進委員会等が、地域や福祉のことを学ぶ機会を設ける。地域協力があふれる地域で学ぶことができる場(ワークショップや講座や勉強会、研修など)を設ける。(住民・職員)	3・2・1・0
④「社協が取り組むこと」 ③の推進委員会等が、地域や福祉のことを学ぶ機会を設ける。地域協力があふれる地域で学ぶことができる場(ワークショップや講座や勉強会、研修など)を設ける。(住民・職員)	3・2・1・0
⑤「地域で取り組むこと」 ③の推進委員会等が、地域や福祉のことを学ぶ機会を設ける。地域協力があふれる地域で学ぶことができる場(ワークショップや講座や勉強会、研修など)を設ける。(住民・職員)	3・2・1・0

【評価シート】

福祉の芽を育てよう!

福祉学習出前講座

学びあおう



篔岳白山小学校 3学年

点字体験、白杖体験を行い、視覚障害に対する理解を深めました。白杖体験では白杖を頭上に掲げ周囲の人へ支援を求める「SOSシグナル」についても学び、今後の生活の中で実際に視覚障害の方と出会った際の関わり方についても考える機会となりました。



涌谷第一小学校 4学年

車いす体験、白杖体験を実施したほか、助け合い体験ゲームを行い、助けること・助けられることについて考えました。大人になるにつれ自ら助けを求めることに躊躇してしまうことがあります。自分から「ちょっと助けてほしい!」という意思表示ができることが大切だと学びました。



涌谷中学校 3学年

全5回の体験を行いました。第5回目には避難所運営ゲーム(HUG)にチャレンジし、それまで行ってきた車いす体験や聴覚障害についての学習(手話)等を生かしながら、避難者に見立てたカードを紙面に示された避難場所に振り分け、避難所運営について学びました。



この方はどの場所に避難するべきかな…?

涌谷高等学校 1学年

総合的な探究の時間で行われた、防災学習のフィールドワークおよび地域防災探究発表会に出向きました。発表会では避難所運営、支援物資、仮設住宅、ボランティアの4つのテーマについて各班からそれぞれ発表がありました。フィールドワークでの質問を踏まえ、高校生の自分たちにできることについて頼もしい意見が出されました。



福祉学習出前講座では学校向け講座のほか、地域向けの講座も用意しています。詳しくはホームページから社協活用サポートガイドをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

問い合わせ先 地域支援・ボランティアセンター(☎43-6661)

2/17

「認知症になっても地域で支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けるために」 第5回「さくらカフェ」を開催しました!

支えあおう



17名の皆さんに参加いただき、談話を楽しみながら、脳トレとして体操やプリントに取り組みました。認知症のご家族を介護されている方からは、認知症カフェなどで外に出る機会をつくり、誰かと話すことで他の方々と思いを共有し、気持ちの切り替えをしているなどのお話がありました。



さくらカフェは
来年度も開催予
定です。
お楽しみに!

楽しく健康づくり！

運動ひろば はじめませんか？

支えあおう



涌谷町内では、22ヶ所の「運動ひろば」が地域の方々を中心として活動をしています。地域の方々気軽集い、内容を考え“運動”を通してココロとカラダの健康づくりを楽しみながら行っています。

「運動ひろば」活動内容について

- ☆開催の頻度は月1～2回や毎週、時間も1時間～1時間30分程度など、地域の方々の話し合いで決めています。
- ☆内容は「涌谷わくわく体操」(町民医療福祉センターリハビリテーション室考案)、筋肉トレーニングのチューブ体操、ストレッチ、レクリエーション物品を使用した運動など、地域の方々が自由に考え、しっかり運動！ゆるやかに運動！と活動も様々です。
- ☆運動はもちろんですが、交流を通して「仲間づくり」の輪を広げる場所にもなっています。

「運動ひろば」の活動を行うと…こんな特典があります！

- ☆その1 町民医療福祉センターリハビリテーション室から講師派遣が可能となります。
- ☆その2 運動やレクリエーションをするボランティアの派遣ができます。



運動ひろばに興味がある方は、社協へお気軽にご相談ください。



- ・運動ひろばを始めたい！
- ・場所はどこを使えばいいの？
- ・年齢制限はあるの？
- ・何人集まれば始められるの？
- ・費用はかかるの？
- ・安心して活動するためには？
- ・他の地域の運動ひろばを見学してみたい！ など

運動ひろば立ち上げに向けて、お手伝いします！

問い合わせ先：地域支援・ボランティアセンター(☎43-6661)

令和5年度『かるが～るプラザ』参加者募集します

【申込期日：令和5年3月6日(月)～3月24日(金)】

介護予防コース ～介護予防やフレイル予防を行います！～

運動や健康講話等を行うことでフレイルを予防し、心身の健康や筋力の維持・向上を図ります。
 また、一緒に活動する仲間を作ることで運動が継続できるように支援します。
 リハビリテーション専門職の指導を受けながら、楽しく介護予防に取り組みませんか？
 ※フレイル予防とは…加齢とともに体や心の働き、社会的なつながりが弱くなる状態を予防します。

対象者	町内在住の方で、健康や体力に不安があり、今後改善していきたい方 ※コースにより対象年齢、開催日が異なります		
コース(1)	対象年齢：75歳以上 開催日：第1・3木曜日 10:00～11:30(全20回) 初回開催日 5/26 参加条件：●体力測定(年2回)を受けられる方 ●緊急連絡網作成にご同意できる方 ●健康チェック、体重、血圧測定の実施及び、データの活用にご協力いただける方	誰でもできる簡単な体操です。 はじめての方、大歓迎★	
コース(2)	対象年齢：65歳～74歳 開催日：第2・4木曜日 10:00～11:30(全20回) 初回開催日 5/25 参加条件：●体力測定(年2回)を受けられる方 ●緊急連絡網作成にご同意できる方		
定員	各30名	会場	涌谷公民館 交流ホール
料金	3,000円(※会費の払い戻しはできませんのでご了承下さい。)		
その他	※卒業制度があります。(事業申込が3年目以降になる方は体力測定の結果に基づき判断させていただきます。)		

人材育成コース ～地域に根ざしたボランティアをしてみよう！～

介護予防について学ぶことで、個人の身体機能や生活能力を向上するとともに、介護予防の必要性や活動方法について学び、介護予防の担い手となる人材を育成します。また、各地区の運動ひろばやボランティア活動の担い手として活動できるように支援します。リハビリテーションの専門職から体操指導等があります。

対象者	町内在住の方で、今後、地域に根ざした介護予防の取組の中心となり活動していきたい方。		
コース	対象年齢：60歳～74歳 開催日：第2・4金曜日 10:00～11:30(全20回) 初回開催日 5/23 参加条件： ●地域の運動ひろば立ち上げの担い手として活動していただける方 ●かるが～るプラザの運営にボランティアとして活動していただける方 ●体力測定(年2回)を受けられる方 ●緊急連絡網作成にご同意できる方	介護予防の必要性や活動方法を 学び地域を盛り上げましょう☆	
定員	30名	会場	涌谷公民館 交流ホール
料金	3,000円(※会費の払い戻しはできませんのでご了承下さい。)		
その他	※コース参加期間は1年 ※参加条件に同意のかるが～る卒業生の応募も可能です(介護予防コース参加は不可)		

【全コース共通】

※各コース定員を超える応募があった場合、初めて『かるが～るプラザ』に参加される方を優先し、利用コースの調整をさせていただきます。

申込先：地域支援・ボランティアセンター(☎43-6661)

アイデア満載!

手作りレクリエーション物品をご紹介します!

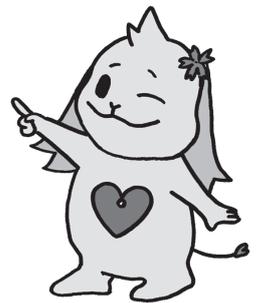


デイサービスを利用されている佐藤善彦さんからいただいたボウリングとミニスカットボールを紹介します。

木材の加工や塗装、装飾など細かい部分まで丁寧に作られており、ボウリングのピンが安定するように砂を入れたり、スティックで打ったボールが手元に戻ってくるように角度をつけるなど、誰でも簡単に楽しめるようさまざまな工夫がされています。

利用者の皆さんからも好評で、レクリエーションの時間は大盛り上がり! 皆さん夢中になって楽しんでます。

このほかにも飛沫防止の亚克力板に付けられる飾りや木製のパズルなども作っていただきました。佐藤さんは「いつもゆうらいふの皆さんにお世話になっているので、少しでも協力できれば」と笑顔でお話されていました。



委員会主催! ゆうらいふ職員研修!

涌谷町社協では職員で構成する委員会が主催となり、職員を対象とした研修を実施しています。今回は3つの委員会で行われた研修について紹介します。

資質向上委員会

テーマ 「チームワークについて」
講師 社福) 恵泉会 障害者支援施設若草園
施設長 宇田川佳浩 氏

立場に応じて求められる役割を理解し、チームワークを高めるためのポイントを再確認しました。



衛生委員会

テーマ 「メンタルヘルスクエアについて～エゴグラムによる性格診断～」
講師 公益財団法人介護労働安定センター
認定キャリアカウンセラー 鶴田弥生 氏

ストレスと上手に付き合うためのセルフケアや環境づくりについて学びました。



虐待・身体拘束防止委員会

テーマ 「『なんだか気になる』を放置しない!
“チーム座談”で共通意識を持とう」

実際にあった少し気になる対応事例について職員同士で座談を行い、自身の言動や日頃提供しているケアについて振り返りました。



まるごと受け止める社協の相談窓口

日常生活でお困りごとのある方へ 生活相談員による生活相談所

「毎日の生活が不安」「仕事のことで悩みがある」
「今後どうしたらいいかわからない」等、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

・3月22日(水) 13時～15時

籠岳地域ケアセンター 相談室

・4月26日(水) 13時～15時

ゆうらいふ 相談室



弁護士による無料法律相談を 実施します

町内在住の方を対象に相続、財産、契約などの法律相談の機会を提供し、心配事や悩み事の相談に応じます。秘密は厳守します。相談は無料で、予約制となっています。

日時：3月23日(木) 13時～15時

場所：ゆうらいふ 相談室

定員：4名(1人30分)

※先着順となります。

申込締切：3月10日(金)まで電話にてお申込みください。



フードドライブにご協力ください

ご自宅で余っている食べきれない食品をご寄付いただき、フードバンク事業を通して必要としている世帯へ提供する取り組みを行っています。お持ち寄り頂いた食品は各設置場所のボックスに入れてください。

- ・募集食品：2か月以上賞味期限が残っており常温保存が可能な食品
例)お米(玄米、精米、パックごはん)、乾麺、缶詰、レトルト食品、インスタント食品など
- ・設置場所：ゆうらいふ正面玄関ホール、涌谷町町民医療福祉センター健康課・福祉課事務室入り口付近、涌谷公民館入り口付近



福祉課・健康課事務室

生活費でお困りの方へ 生活資金貸付のご案内

【生活安定資金】

- ・対象者：低所得世帯等
- ・貸付限度額：50,000円以内
(特に必要と認めた場合は70,000円以内)
- ・償還期間：1年以内 ・連帯保証人：必要
- ・貸付利子：無利子

【小口生活安定資金】

- ・対象者：低所得世帯等
(特に緊急・一時的救護が必要な世帯)
- ・貸付限度額：10,000円以内
- ・償還期間：2か月以内 ・連帯保証人：不要
- ・貸付利子：無利子

その他、随時相談を受け付けております。お気軽にお問合せ下さい。

申し込み・問い合わせ先：生活相談・支援センター【☎43-6661 e-mail mail20@wakuya-sfk.net】

返しきれない借金や多重債務でお悩みの方へ 相談窓口のご案内

東北財務局では借金を抱えてお悩みの、自営業者の方を含む個人からの相談を受け付けています。相談は無料です。一人で悩まずお気軽にご相談ください。

- ・連絡先：東北財務局 多重債務者相談窓口(仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟5階)
☎022-266-5703(直通)
- ・受付期間：祝日、年末年始を除く月～金曜日 9時～12時、13時～17時

お知らせ

心温まる善意ありがとうございました

(12月21日から2月22日)

▽寄附金

・アルプスアルパイン(株)涌谷工場
アルプスアルパイン労働委員会
わくや支部

10万円

・匿名 様 5千円

・匿名 様 9千円

・匿名 様 10万円

▽寄附物品

・野村公子 様 手作り雛人形 20個

・匿名 様 紙パンツ 4袋

▽フードバンク事業のため

・涌谷ライオンズクラブ 様 食品等(12月・1月分) 37kg

・フードドライブ(12月・1月分) 17.8kg

子育て支援事業「エプロンおばさんと遊ぼう広場」を開催しています

未就学の子どもたちとその保護者を対象に、自由遊びや子育て相談を通して、交流を図る場としています。参加費・申込不要です。

▽日時 毎週木曜(祝祭日・年末年始除く) 10時～11時30分

※3月23日はお休みです

▽場所 ゆうらいふ多目的ホール

▽問い合わせ先 ☎43-6661

生活相談・支援センター

一般介護予防事業「長寿お達人教室」を開催しています

楽しく脳トレや体操をしながら、皆でたくさん笑いあえる「長寿お達人教室」に参加して、アタマとカラダ、そしてココロをほぐし、元気を保ちましょう！

学習・居場所サポートボランティアを募集しています！

貧困、不登校、引きこもりなど、生きづらさを抱えた子どもたちの学習支援や居場所づくり等に取り組んでいるNPO法人アスイクで、学習支援ボランティアを募集しています。

興味のある方は、下記までお気軽にご連絡ください。

活動日時 月～金曜日(週1回) 16:30～20:00 ※活動時間は応相談
活動場所 涌谷町、美里町など県内11ヶ所の拠点
※交通費は実費支給
参加条件 ①高校生以上の方(性別不問)
②最低3ヶ月以上活動できる方
③子どもと向き合ってください
問い合わせ先 NPO法人アスイク ☎022-781-5576

▽場所、日程

① ゆうらいふ / 3月1日

② 涌谷公民館 / 3月8日

▽時間 10時～11時30分

▽持ち物 運動しやすい服装、飲み物、マスク、鉛筆等

▽参加費 100円(申込不要)

▽問い合わせ先 ☎43-6661

地域支援・ボランティアセンター

共同募金からのお知らせ

令和4年度赤い羽根共同募金へのご協力、
ありがとうございました。



寄せられた募金は、宮城県共同募金会を通じて、令和5年度に民間福祉事業等(社協・福祉団体・ボランティアグループ等)に配分されます。

募金総額 2,499,868円

戸別	2,058,620円	企業	149,500円
街頭	19,692円	学校	54,257円
職域	166,481円	イベント	8,388円
個人	7,865円	募金箱	21,730円
ハートフルベンダー(自動販売機募金)			13,335円

(令和5年2月20日現在)

令和4年度社協会費の御礼と実績

本年も涌谷町社会福祉協議会の趣旨にご賛同いただき、多くの会員の皆様から年会費のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。いただいた会費は涌谷町の豊かな地域づくりのため、活用させていただきます。会員の皆様へ、心より御礼と感謝を申し上げます。

また、各地区の地域福祉会長・福祉推進員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

一般会費	5,090,700円(4,450件) ※減額、免除世帯も含まれます。
賛助会費	153,000円(51件)
特別会費	225,000円(35件45口)
総額	5,468,700円(4,536件)

(令和5年2月20日現在)

お花見の名所「城山公園」をみんなで清掃しましょう！

涌谷町ボランティアの会主催で「城山公園清掃」を実施します。綺麗な城山公園でお花見ができるよう皆さんの参加をお待ちしています。

日時 4月4日(火) 10時から (雨天時は5日)
 集合 城山公園大鳥居前
 内容 公園内清掃、草取り
 持ち物 手袋、草取り・清掃用具
 問い合わせ先 ☎43-6661(地域支援・ボランティアセンター)



配食ボランティア大募集！

涌谷町社協では、一人暮らし高齢者や調理が難しい障害者等を対象に夕食の配食サービスを行っています。見守り・安否確認を行いながら、お弁当をお届けしていただくボランティア(協力員)を募集しています。

【配食サービス協力員 活動の流れ】

15:50 活動開始

ゆうらいふへ集合し、配達数や申し送り事項を職員と確認します。



16:00 出発

ゆうらいふの厨房で作ったお弁当を受け取り出発します。



17:15頃 活動終了

ゆうらいふへ戻り、利用者の変化等を報告します。



Q 活動回数は？

A 月1回から可能です。都合の良い曜日等をお伺いし決定します。

Q 配達エリアは？

A 涌谷町内のみで、3コースに分かれて配達を行っています。1コースあたり4軒～10軒の配達をお願いしています。

Q 活動に必要なものは？

A 自家用車を使い配達していただきます。その他エプロン等は貸与します。

活動1回あたり1,000円を支給する有償ボランティア活動となっています。安心して活動していただけるよう、ボランティア保険への加入も行います。

興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎43-6661(地域支援・ボランティアセンター)

ご存知ですか？日常生活自立支援事業



愛称は
まもりーぶです！
(まもる+ビリーブ(信じる))

日常生活自立支援事業(まもりーぶ)とは、認知機能に低下が見られる高齢者や知的・精神障がい者等の判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用に伴う日常的な金銭管理面の支援などを行う事業です。

サービス内容

- ・福祉サービス利用のお手伝い(情報提供など)
- ・日常的な金銭管理のお手伝い
- ・書類等のお預かり(通帳、実印など)

※利用契約及び支援計画により提供するサービスを決定します。

利用料金

- ・基本料金 700円/1ヵ月
- ・サービス料金 500円/30分
- ・書類お預かり料 300円/1ヵ月
- ・サービス提供に係る旅費 km数に応じて

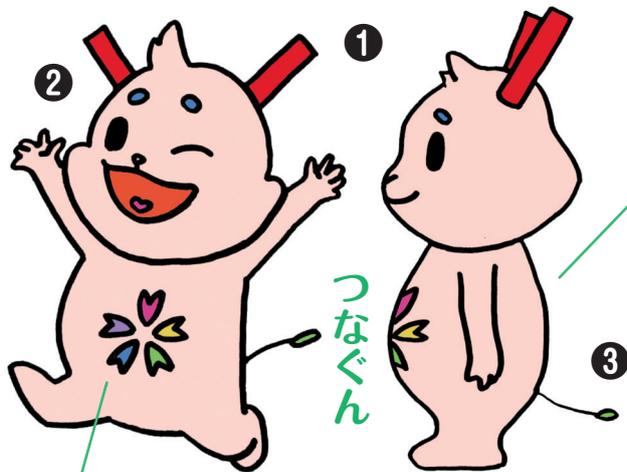
※サービス料金と旅費は減免になる場合があります。
 ※別途口座引落手数料がかかります。

問い合わせ先 大崎地域福祉サポートセンター ☎25-3032 / 涌谷町社会福祉協議会 ☎43-6661



涌谷町社協オリジナルキャラクターのご紹介

オリジナルキャラクターの名前は、「つなぐん」と「つくるん」です。社協職員(生活支援コーディネーター等)の役割である「つなぐ・つくる」をわかりやすく伝えることができ、若い世代も馴染みやすい可愛らしいものを!との考えから、名付けました。

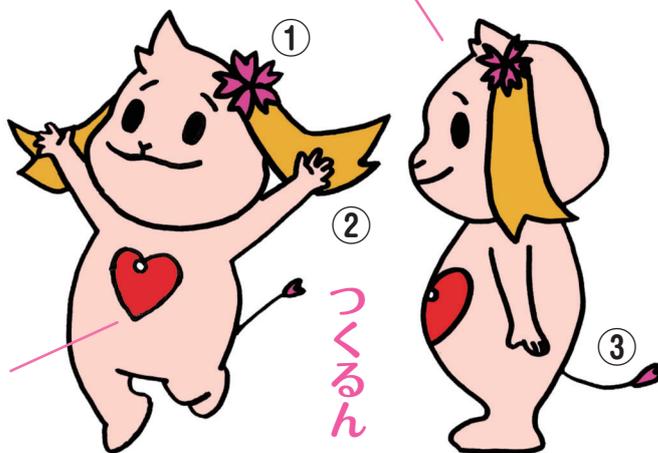


- ①赤い柱をイメージした2本の角
- ②まる眉で天平(奈良時代)を表現
- ③尻尾は涌谷町の自然の豊かさを表現

- ①桜の髪飾り
- ②耳の色は、幸福感や喜びを表すオレンジ色
- ③尻尾のハートは福祉の優しさを表現し、お腹のハートとリンク

お腹の桜の花びらは5色。違いを認める多様性を表すと共に、涌谷町をイメージした配色になっています。

お腹のハートはポケットになっています。名前のおと、ポケットの中で素敵なものを作りだしています。



デザインの決定までに2回のプレゼンを実施し、一つひとつのデザインに込めた想いを生徒の皆さんから説明していただきました。ご提案いただいたデザインはどれも素晴らしいもので、最終決定にあたっては職員も悩みましたが、涌谷町らしさを伝えるモチーフを加えながら、色づかいや丸いフォルムで福祉の優しさや温かさを表現していたこと、子どもから高齢者まで馴染みやすい可愛らしいデザインであることが決め手になりました。

今後は、広報活動等で大活躍してもらう予定です。涌谷高校美術部の皆さん、本当にありがとうございました。



今号で涌谷町社協オリジナルキャラクターが紹介されました。日本はとりわけキャラクターが好きなようで、全国津々浦々数多くのキャラクターが活躍しているようです。紹介されたキャラクターは「つなぐん」と「つくるん」。プロの手によるものではなく、涌谷高校美術部と社協職員が一年掛かりで作上げたこの「つなぐん」と「つくるん」に、次いで「つくるん」や「つなぐん」に、次いで「つくるん」や「つなぐん」に、次いで「つくるん」や「つなぐん」に進化してほしいですね。

広報委員

編集後記

ボランティアグループ
「50代の会」

朗読テープの貸し出し

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。

▽問い合わせ先 43-6661
(地域支援・ボランティアセンター)

